



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月25日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東
コード番号 2804 URL <https://www.bulldog.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員（氏名）石垣 幸俊
問合せ先責任者（役職名）取締役 常務執行役員（氏名）佐伯 舞（TEL）03(3668)6821
経営企画室長
半期報告書提出予定日 2024年11月1日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 7,312 | 0.8 | △60 | — | 247 | △49.0 | 183 | 247.3 |
| 2024年3月期中間期 | 7,257 | 9.0 | 361 | 141.0 | 485 | △13.2 | 52 | △85.4 |

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △73百万円（—%） 2024年3月期中間期 1,028百万円（194.7%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期中間期 | 13.72 | — |
| 2024年3月期中間期 | 3.95 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年3月期中間期 | 32,469 | 21,143 | 65.1 | 1,583.09 |
| 2024年3月期 | 33,747 | 21,460 | 63.6 | 1,606.84 |

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 21,143百万円 2024年3月期 21,460百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 17.00 | — | 18.00 | 35.00 |
| 2025年3月期 | — | 17.00 | | | |
| 2025年3月期（予想） | | | — | 18.00 | 35.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|-----|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,050 | 3.9 | 300 | 83.1 | 700 | 3.7 | 490 | 237.0 | 36.69 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「中間連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2025年3月期中間期 | 13,954,880株 | 2024年3月期 | 13,954,880株 |
| 2025年3月期中間期 | 598,914株 | 2024年3月期 | 598,854株 |
| 2025年3月期中間期 | 13,355,996株 | 2024年3月期中間期 | 13,349,859株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (当中間期における連結範囲の重要な変更) | 9 |
| (中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)における我が国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなか、インバウンド需要の増加を背景に外食産業が伸長しました。一方、資源価格の高騰や、物価高への懸念が強まり、消費者の節約志向は一層高まりつつあります。

このような状況の中、当社グループは第11次中期経営計画「B-Challenge2025」の新たな成長戦略である3テーマ(国内戦略・海外戦略・VC(バリューチェーン)戦略)の実行を進めると共に、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、政策保有株式等の売却、鳩ヶ谷工場跡地の有効活用など具体的な取り組みを進め企業価値の向上に努めてまいりました。

(国内)

「家庭用ソース」は、主力商品である「ウスター、中濃、とんかつソース」のうち小容量商品は好調に推移したものの、消費者の節約志向による売上の鈍化が継続し、全体の売上高は前年同期比1.8%減の40億7千9百万円となりました。

「業務用ソース」は、好調な外食市場への売上が増加し、また加工食品向けも順調に推移した結果、全体の売上高は前年同期比5.9%増の19億5千4百万円となりました。

「家庭用(ソース以外)ドレッシング・たれ等」では、「&ブルドックドレッシング」が徐々に定着し好調に推移したものの、「野菜のドレス」は販売戦略変更に伴う一時的な販売店舗の縮小により売上が減少し、全体の売上高は前年同期比1.6%減の6億9千1百万円となりました。

「家庭用(ソース以外)その他」は、外食回帰の影響があったものの、売上高は前年同期比0.4%増の2億8千6百万円となりました。

(海外)

「輸出」は、米国経済の減速懸念・中東情勢の緊迫化などの不安要素がある中、北米を中心とする現地商社との取組み、マーケティング活動による新規顧客の獲得などに成功し、売上高は前年同期比10.7%増の2億4千6百万円となりました。

「現地法人(上海)」は、ALPS処理水の影響は続いているものの、新規顧客の獲得により、売上高は前年同期比12.8%増の5千3百万円となりました。

この結果、売上高は前年同期比0.8%増の73億1千2百万円となりました。当初より想定していた「TATEBAYASHIクリエイションセンター(以下「TCC」)」新設に伴う減価償却費の増加に加えて原材料費が増加した一方で、諸経費の削減等にも努めましたが営業損失は6千万円となりました。経常利益につきましては、投資有価証券売却益はあったものの前年同期比49.0%減の2億4千7百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に事業再構築費用等の特別損失の計上があったため、前年同期比247.3%増の1億8千3百万円となりました。

第3四半期以降は、「家庭用ソース」は、主力レギュラーソースの販売強化を図るため、食フェスなどのイベント参加、様々な食関連企業とのコラボレーション、SNSキャンペーンなどを展開し、店頭において各売場と連動したメニュー提案を行い、消費者のソース需要を喚起してまいります。「業務用ソース」は、原材料価格高騰の影響が大きいことから、業務用NB商品45品の価格を2024年11月から改定し、採算性の改善を図ります。また、生産対応力を活かして他社からのブランドチェンジを一層進め、業務用市場での更なる売上拡大を進めてまいります。2024年1月に本格稼働したTCCは、今後の売上拡大を支えるため、より一層の生産性向上に努めてまいります。また、資本コストや株価を意識した経営の取組みとして、ROE5%の実現をめざし、総還元性向60%以上にに向けた実効性のある施策を進めてまいります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて12億7千8百万円減少し、324億6千9百万円となりました。

流動資産は、未収消費税等の減少などにより、前連結会計年度末に比べて4億7千2百万円減少し、84億6千7百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べて8億5百万円減少し、240億2百万円となりました。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて9億6千万円減少し、113億2千6百万円となりました。

流動負債は、未払費用の減少などにより、前連結会計年度末に比べて5億7千7百万円減少し、51億3千1百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて3億8千3百万円減少し、61億9千4百万円となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて3億1千7百万円減少し、211億4千3百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ9億3千4百万円増加し、29億1千2百万円となりました。なお、当中間連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、13億7千3百万円の収入(前年同期は、5億7千万円の支出)となりました。

これは主として、未収消費税等の減少7億8百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億2千5百万円の収入(前年同期は、38億6千2百万円の支出)となりました。

これは主として、投資有価証券の売却等による収入2億5千7百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億7千万円の支出(前年同期は、2億9千2百万円の支出)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出3億2千3百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,993 | 2,917 |
| 売掛金 | 4,926 | 4,457 |
| 商品及び製品 | 808 | 747 |
| 原材料及び貯蔵品 | 188 | 187 |
| 仕掛品 | 21 | 29 |
| 未収消費税等 | 708 | — |
| その他 | 293 | 127 |
| 流動資産合計 | 8,939 | 8,467 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,216 | 7,051 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 4,627 | 4,313 |
| 土地 | 2,784 | 2,784 |
| その他(純額) | 300 | 274 |
| 有形固定資産合計 | 14,929 | 14,423 |
| 無形固定資産 | 197 | 182 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,156 | 8,723 |
| 繰延税金資産 | 88 | 91 |
| その他 | 444 | 589 |
| 貸倒引当金 | △8 | △8 |
| 投資その他の資産合計 | 9,681 | 9,395 |
| 固定資産合計 | 24,808 | 24,002 |
| 資産合計 | 33,747 | 32,469 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,739 | 1,515 |
| 電子記録債務 | 294 | 267 |
| 短期借入金 | 1,270 | 1,270 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 611 | 572 |
| 未払法人税等 | 8 | 69 |
| 未払金 | 255 | 36 |
| 未払費用 | 1,303 | 1,079 |
| 賞与引当金 | 171 | 175 |
| その他 | 55 | 143 |
| 流動負債合計 | 5,708 | 5,131 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,412 | 4,127 |
| 繰延税金負債 | 1,263 | 1,152 |
| 退職給付に係る負債 | 763 | 789 |
| 役員株式給付引当金 | 35 | 35 |
| 執行役員退職慰労引当金 | 66 | 55 |
| 長期末払金 | 14 | 14 |
| その他 | 23 | 20 |
| 固定負債合計 | 6,577 | 6,194 |
| 負債合計 | 12,286 | 11,326 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,044 | 1,044 |
| 資本剰余金 | 2,564 | 2,564 |
| 利益剰余金 | 15,125 | 15,065 |
| 自己株式 | △794 | △794 |
| 株主資本合計 | 17,939 | 17,879 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,437 | 3,177 |
| 為替換算調整勘定 | 20 | 27 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 62 | 58 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,521 | 3,264 |
| 純資産合計 | 21,460 | 21,143 |
| 負債純資産合計 | 33,747 | 32,469 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 7,257 | 7,312 |
| 売上原価 | 4,846 | 5,270 |
| 売上総利益 | 2,411 | 2,041 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,049 | 2,102 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 361 | △60 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 116 | 138 |
| 投資有価証券売却益 | — | 190 |
| 受取保険金 | 21 | 1 |
| その他 | 7 | 6 |
| 営業外収益合計 | 144 | 336 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16 | 23 |
| 為替差損 | 2 | 3 |
| その他 | 1 | 1 |
| 営業外費用合計 | 20 | 28 |
| 経常利益 | 485 | 247 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 0 |
| 特別利益合計 | — | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 22 | — |
| 減損損失 | 85 | — |
| 投資有価証券評価損 | 11 | — |
| 事業再構築費用 | 257 | — |
| その他 | 2 | — |
| 特別損失合計 | 379 | — |
| 税金等調整前中間純利益 | 105 | 247 |
| 法人税等 | 53 | 64 |
| 中間純利益 | 52 | 183 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 52 | 183 |

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 52 | 183 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 975 | △259 |
| 為替換算調整勘定 | 3 | 6 |
| 退職給付に係る調整額 | △2 | △4 |
| その他の包括利益合計 | 975 | △257 |
| 中間包括利益 | 1,028 | △73 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 1,028 | △73 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | — | — |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 105 | 247 |
| 減価償却費 | 398 | 566 |
| 減損損失 | 85 | — |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 15 | 4 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △3 | 20 |
| 役員株式給付引当金の増減額(△は減少) | 3 | — |
| 執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 9 | △11 |
| 受取利息及び受取配当金 | △116 | △138 |
| 支払利息 | 16 | 23 |
| 事業再構築費用 | 257 | — |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 22 | △0 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △190 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 11 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △547 | 469 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 272 | 53 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △437 | △250 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | △101 | 708 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △91 | △220 |
| その他 | △84 | △82 |
| 小計 | △182 | 1,200 |
| 利息及び配当金の受取額 | 116 | 138 |
| 利息の支払額 | △16 | △24 |
| 事業再構築費用の支払額 | △241 | △2 |
| 法人税等の支払額 | △245 | △38 |
| 法人税等の還付額 | — | 100 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △570 | 1,373 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,063 | △63 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △7 | △66 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △3 | △3 |
| 投資有価証券の売却等による収入 | — | 257 |
| その他 | 213 | 2 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,862 | 125 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 300 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △347 | △323 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △0 |
| 自己株式の処分による収入 | 3 | — |
| 配当金の支払額 | △243 | △243 |
| その他 | △4 | △3 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △292 | △570 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2 | 4 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △4,723 | 934 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,930 | 1,978 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 1,207 | 2,912 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間期における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

なお、連結範囲の重要な変更には該当していませんが、2024年6月に連結子会社であった株式会社B u l l
フーズを当社に吸収合併し、連結の範囲から除外しております。

(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

当社グループは、ソース類の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。